

令和5年度
水戸市こども発達支援センター事業報告書



みとちゃん

令和6年4月
水戸市こども発達支援センター

1 職員構成

(1) センター

	所長	言語聴覚士	保育士	社会福祉士	事務	巡回訪問指導員	臨床心理士
職員	1	1		1			
会計		1	5		1	2	2

(2) 分室

	言語聴覚士	幼稚園教諭	保育士	事務
職員	2	6		
会計			4	3

※会計＝会計年度任用職員

2 事業内容

(1) 発達相談

臨床心理士を配置し、こどもの発達に不安を持つ保護者への相談支援を実施。相談者のニーズに応じ、社会福祉士・言語聴覚士などの専門職も相談支援に対応した。

相談・発達検査とも増加傾向にあり、福祉サービス利用に関する意見書の作成や福祉サービス利用に係る相談及び申請手続きを相談支援として実施した。

また、必要に応じて医療、保健、福祉、教育等関係機関との情報連携を図った。

ア 心理士による相談件数

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
R 5	51	55	80	66	76	65	67	65	75	83	81	79	843
R 4	47	48	45	43	27	42	34	51	50	41	49	62	539
R 3	10	15	2	1	0	17	26	42	39	37	39	57	285

イ 社会福祉士による相談件数

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
R 5	6	11	3	4	1	4	21	13	6	8	9	5	91
R 4	9	20	26	21	18	20	24	28	18	38	29	57	308
R 3	19	19	35	29	36	32	21	38	33	28	24	34	348

ウ センター利用者総数

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
R 5	186	228	282	273	247	250	338	316	301	310	329	301	3,361
R 4	157	209	265	193	144	225	271	279	280	298	322	322	2,965
R 3	123	153	258	247	179	186	264	353	325	249	188	220	2,745

(2) 療育指導（個別・グループ）

保育士を配置し、こどもの発達に心配がある保護者と児童を対象に、親子通所による療育指導を実施。また、児童の発達特性や家庭状況に対応するため個別での指導も取り入れた。

ア グループの構成 ※ぱんだとこあらは、在籍児は週１回

- ・ぱんだグループ（３歳児，週２回）…４グループ
- ・こあらグループ（２歳児，週２回）…５グループ
- ・うさぎグループ（１歳児，週１回）…２グループ

イ 通所児実数

年齢 性別	１歳児	２歳児	３歳児	計	割合（％）
男	８	２２	１３	４３	７９．６
女	１	８	２	１１	２０．４
計	９	３０	１５	５４	１００．０

ウ 通所児の紹介経路

紹介経路	人数（人）	割合（％）
前年度からの継続	１	１．８
健診・育児相談等	２１	３８．９
病院	５	９．３
知人・兄弟姉妹	３	５．５
在籍園（所）・プレ等	５	９．３
インターネット・広報等（自己検索）	１９	３５．２
計	５４	１００．０

エ 通所児の進路

進路	人数（人）	割合（％）
在宅	１	１．８
継続通所	５	９．３
保育所（園）	１３	２４．１
幼稚園	１７	３１．６
認定こども園	３	５．５
児童発達支援	９	１６．７
幼稚園プレ	３	５．５
転出	３	５．５
計	５４	１００．０

(3) 言語相談・指導

言語相談は、言語発達や発音・吃音等の相談を中心に相談支援を行った。言語指導は、60分を基本とし、一人に対し月１～２回の頻度で実施した。

・利用児延べ人数

年度		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
R5	相談		20	17	27	15	19	16	20	14	19	13	15	15	210
	指導		31	38	35	32	33	32	50	51	50	53	45	44	494
R4	相談		7	9	18	4	13	21	16	24	18	21	12	21	184
	指導		32	28	39	36	35	42	39	35	42	44	48	55	475
R3	相談		7	7	15	15	21	7	10	14	14	13	7	11	141
	指導		28	32	43	36	47	54	64	67	67	64	56	58	616

(4) 療育指導教室（幼児のこぼ・こころの教室）

発達や発音等に何らか心配のある４・５歳児を対象とした療育を行っている。

定期的に、分室職員が集まり、研修会を開催している。

また、就学相談会へ参加する通所児の情報提供を行ったり、小学校で通級教室に通う児童の引継ぎを行っている。

・利用延べ人数

月			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
五軒	発達支援	相談	4	6	2									1	13
		指導	64	78	93	85	75	95	105	98	91	103	88	93	1,068
		面談		1	10	3	8	3	4	3	2				34
	言語指導	相談	6	8	10	5	2	3	2	1	5	1	3	1	47
		指導	33	41	37	39	35	43	45	44	40	43	39	38	477
		面談			1	1			1						3
緑岡	発達支援	相談	5	6	1	5	2	6			1	2		1	29
		指導	21	29	54	62	24	77	73	78	78	72	81	72	721
		面談				7	1				1	1	1		11
百合が丘	発達支援	相談	4	5	3	2	3	7	3	2	1				30
		指導	32	63	47	55	65	67	83	74	91	89	86	88	840
		面談			8	2	1				1				12
妻里	発達支援	相談	7	8		2	5	2	3		3			3	33
		指導	20	48	56	53	45	69	79	80	81	89	86	86	792
		面談			3	3	2								8
	言語指導	相談	3	5	2	4	3	1	2		1	1			22
		指導	28	39	45	49	54	51	53	53	53	57	62	61	605
		面談			1	1			1						3

(5) 関係機関との情報提供及び連携

ア 医療機関等への紹介

当センターの利用児が医療機関への受診を希望する場合には、情報提供を行った。また、必要に応じてケースカンファレンス等にも参加し情報連携を図った。

イ 子育て支援課母子保健係の健診事後相談への臨床心理士の派遣

母子保健係で実施している健康事後相談に臨床心理士を派遣し、相談対応を行った。

(6) 巡回訪問指導

水戸市在住の児童が在籍する幼稚園・認定こども園及び保育所等からの希望に基づき、水戸市心身障害児療育指導委員会の協力のもと、当該施設を訪問し助言・指導を行った。

また、園からの希望により、巡回訪問指導員の他、臨床心理士や言語聴覚士を同行させた。

・実績

訪問園数(実園数)	55か所
対象児数(実人数)	192人
訪問回数(延べ回数)	161回

	訪問園数(実園数)	対象児数(実人数)	訪問回数(延べ回数)
認定こども園	8	42	35
幼稚園	2	10	5
市立保育所	10	42	35
民間保育園	30	89	78
その他の保育施設	5	9	8
計	55	192	161

(7) 福祉サービス利用に関する相談及び情報発信

ア 障害児福祉サービスの相談・申請

児童発達支援、放課後等デイサービス等の利用に関する相談やサービス申請に係る業務を行った。また、児童発達支援及び放課後等デイサービスの事業所に関する情報発信を行っている。

イ 実績

R5年度申請件数 51件

(8) 講演会、研修会、座談会等の開催

センター利用の保護者のみでなく、広く市民に対して発達障害についての理解を深める事業として、リーフレットの配布を行い、講演会等の計画を立てた。

令和5年度の講演会は、「親子ヨガ」を2回開催した。

また、親支援プログラムの一つである「ペアレント・トレーニング」講座を、臨床心理士を中心に開催した。通常版(全10回)の他に、初めて幼児版(全5回)も回開催した。参加者は、幼児版5名、通常版5名であった。

センターの専門職による座談会もセンターのホールにて実施した。

- ・第1回 「ことばと遊び」(対象1・2歳児親子 保育付き)
講師：言語聴覚士 4月12日(水) 午前に2回実施(10名参加)
- ・第2回 「ことばと遊び」(対象1・2歳児親子 保育付き)
講師：言語聴覚士 5月10日(水) 午前に2回実施(6名参加)
- ・第3回 「ほめるコツ」(対象1・2歳児親子 保育付き)
講師：臨床心理士 8月2日(水) 午前に2回実施(11名参加)
- ・第4回 「ことばと食事」(対象1・2歳児親子 保育付き)
講師：言語聴覚士 8月30日(水) 午前に2回実施(8名参加)
- ・第5回 「ほめるコツ」「ことばと遊び」(対象1・2歳児親子 保育付き)
講師：臨床心理士, 言語聴覚士 12月27日(水) 午前各1回(前半4名, 後半5名参加)
- ・第6回 「ことばと遊び」「ほめるコツ」(対象1・2歳児親子 保育付き)
講師：言語聴覚士, 臨床心理士 12月28日(木) 午前各1回(前半3名, 後半3名参加)
- ・第7回 「ことば, ことばかけ」(対象1・2歳児親子 保育付き)
講師：言語聴覚士 3月6日(水) 午前に2回(10名参加)

茨城音楽専門学校の先生を招いて音楽療法を実施している。12回実施し、延べ86組の親子

が参加した。

1～3歳児を対象とした「ことばの相談会」も引き続き実施した。月2回（1回3人）全24回実施し、延べ62人が参加した。なかには、センターの療育などにつながったケースもあった。

3 療育指導委員会の活動について

(1) 概要

水戸市心身障害児療育指導委員会（昭和63年度設置）は、関係機関及び学識経験者から市長が委嘱又は任命する17人の委員で組織し、発達につまずきや遅れ等のある児童やその保護者に対して、個々のニーズに応じて行うセンターの指導方法や援助方針に対して審議等を行うため開催している。また、専門部会委員によるセンター通所児観察や巡回訪問指導を実施している。

(2) 通所児観察会

専門部会の委員4名が担当。担当委員が2名ずつ2グループに分かれ、センターに通所している児童のうち、指導に特に困難を要する児童について観察及び担当保育士への指導等を行う。年2回実施。

令和5年度は、7月と1・2月に、2歳児、3歳児で実施。

(3) 巡回訪問指導

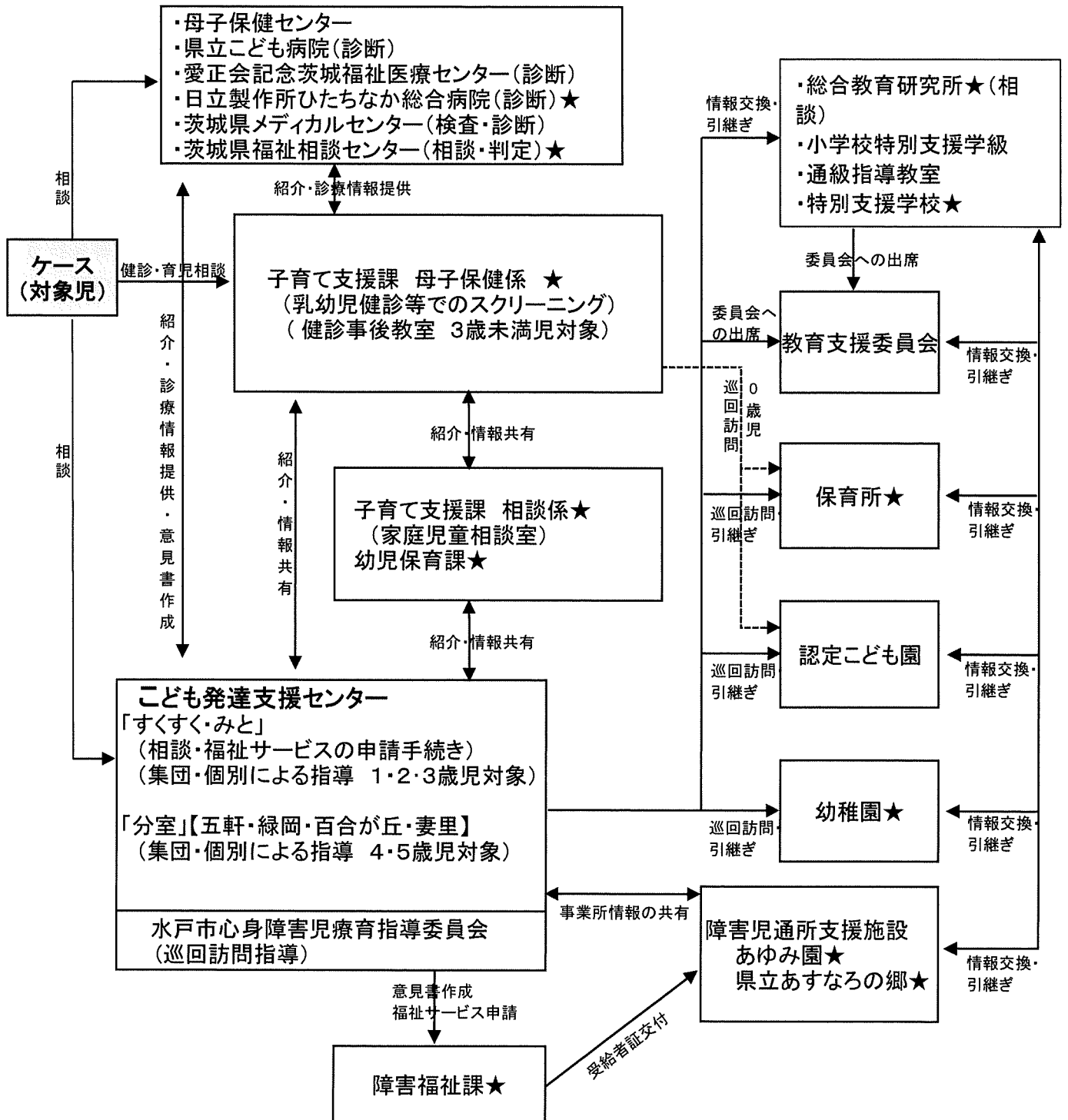
専門部会の委員4名が担当。『2活動概要 (5)巡回訪問指導』のとおり

(4) 会議開催

7月に第1回水戸市心身障害児療育指導委員会全体会を、2月に専門部会を開催した。

5・9・2月には巡回訪問指導担当者会議を開催した。

発達障害児(就学前)の連携機関



★=水戸市心身障害児療育指導委員会委員の所属先